

デイサービスあ・み・ず放課後等デイサービスは、本人主体の個別支援計画を作成し、5領域に基づく以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。

<b>健康・生活</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握・て改善</li> <li>生活のリズムや生活環境の形成</li> <li>基本的生活スキルの獲得</li> </ul>
<b>具体的な支援内容</b>	
<b>健康状態の把握</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保護様からの連絡帳等を通して健康状態周知を行います。</li> <li>②来所時、検温、視診を行います。</li> <li>③意思表示が困難な利用者様に関しては小さなサインを見逃さず観察をします。</li> </ul>
<b>健康の維持・改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康促進できる活動を取り入れていきます。</li> <li>②病気の予防や安全対策していきます。</li> </ul>
<b>基本的生活スキルの獲得</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①身の回りを清潔（手洗い・消毒）食事・衣類の脱着排泄などの生活に必要な技術を学べるよう支援します。</li> </ul>
<b>構造化等により生活環境を整える</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①活動に応じた空間の構造化を行います。</li> <li>②個々の特性に合わせた状況が理解できる声掛けや目で見て理解できる環境の設定を行います。</li> </ul>

<b>運動・感覚</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と運動・動作の向上</li> <li>姿勢と運動・動作の補助手段の活用</li> <li>保有する感覚の総合的な活用</li> </ul>
<b>具体的な支援内容</b>	
<b>姿勢と運動・動作の向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図ります。基本的動作を主に（靴の着脱、手洗い・うがい・排泄・食事等）</li> <li>②椅子や机を用いた活動の中で正しい姿勢の習得出来るように支援します。朝の会、絵本の読み聞かせ等で一人ひとりが集中できる時間に座位姿勢【正しい姿勢で座る】を身に付けられるようにします。</li> <li>③意思表示が困難な利用者様に関しては小さなサインを見逃さず観察をします。</li> </ul>
<b>補助的な手段の活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個人のメガネや補聴器、食事において自動具など各種の補助器具を用いて支援します。身体に合うように補助用具も効果的に活用していきます。</li> <li>②五感で楽しめる季節に応じた制作活動を提供し自主的に楽しく【感覚】を感じられるように支援します。</li> </ul>
<b>保有する感覚の活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保有する五感を最大限活かすことができるように、活動やあそびを通して支援します。</li> <li>②バランス感覚など体の使い方や強弱・方向の感覚を見つけれられるように支援します。</li> </ul>

<b>認知・行動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知の発達と行動の習得</li> <li>空間・時間・数等の概念形成の習得</li> <li>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</li> </ul>
<b>具体的な支援内容</b>	
<b>認知の発達と行動の習得</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①一人ひとりの特性に応じた、五感を十分に活用して必要な情報を収集しやすいように、色や形（絵や文字）、音や声、香りや味、触り心地や温度が直接分かるように認知機能の発達を促すことのできる支援をします。</li> <li>②活動の中で活動内容から情報を収集しやすいようにイラストや写真を用いて手順を習得し、言葉や実際に保育者が演じてルールの説明を【目で見て理解できる】内容として、実際に自らが行動につなげられるように支援します。</li> </ul>
<b>空間・時間・数等の概念形成の習得</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多い・少ない、大きい・小さい、長い・短いなどの概念が【目で見て理解できる】具体的な対象物を用いて支援します。</li> </ul>
<b>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①イラストや写真、ホワイトボードなどを用いて、自身で理解できる情報を適切に処理し（促し）、自身で選択できる環境を整えて個々の特性に配慮し支援します。</li> <li>②給食やおやつを含め、こだわりや偏食について軽減できるように支援します。</li> </ul>

<b>言語・コミュニケーション</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語の形成と活用</li> <li>言語の受容及び表出</li> <li>コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用</li> </ul>
<b>具体的な支援内容</b>	
<b>言語形成と活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個々の特性に合わせて具体的な体験や意味の理解ができるように【目で見て理解できる】内容を掲示して職員が代弁し、その事柄を声や言葉・音として覚えられるようにします。心地や温度が直接分かるように認知機能の発達を促すことのできる支援をします。</li> <li>②言葉を通して身近な物や人を表して受容が行えるように支援致します</li> </ul>
<b>言語の受容及び表出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①受容が少しずつ進み自ら伝えたい、発信したいと思えるように職員との信頼関係を構築していきます。</li> <li>②絵本、絵カード等で状況や対象物を同語反復練習、気持ちの代弁経験を通して支援を行います。</li> </ul>
<b>コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①言語的コミュニケーション能力に応じて、正しい言葉の理解と活用方法を繰り返しその場面に応じて伝えていく支援致します。</li> <li>②非言語的コミュニケーションでは場面に応じたジェスチャーや仕草、表情や態度を繰り返し伝え、支援します。</li> </ul>

<b>人間関係・社会性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者との関わり（人間関係）の形成</li> <li>自己の理解と行動の調整</li> <li>仲間づくりと集団への参加</li> </ul>
<b>具体的な支援内容</b>	
<b>アタッチメント形成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①話す・聞く・触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を構築していきます。その信頼関係をベースに周囲の人や友だちと安定した関係を形成するための支援を行います。</li> <li>②あそびや経験を通して保育者がお子さま一人ひとりの気持ちを代弁して対人関係を円滑に促します。心地や温度が直接分かるように認知機能の発達を促すことのできる支援をします。</li> </ul>
<b>自己の理解とコントロールのための支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の特性を理解して、声掛けや指示のタイミングを統一して支援致します。</li> <li>できる・できない等の自身の行動特性を理解し、気持ちや感情の調整ができるように配慮して支援します。</li> </ul>
<b>集団への参加と支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個別の活動から集団活動への移行に個々の特性を理解して状況や状態に合わせて苦手意識を限りなく少なく配慮できるように促してい</li> <li>②安心して参加できるように職員が側にいることで安全第一となり、職員自らが楽しむことができるように活動の設定を施します。</li> <li>③相手の気持ちや状況の理解が円滑に行えるように保育者がフィルターとなり代弁して相互理解が図れるように支援致します。</li> </ul>